

公共施設マネジメントの手法

市が進める公共施設マネジメントは、単に施設を減らし経費削減を図るだけでなく、市民の皆さんの利便性が向上するよう、公共施設がより良い形になることをめざしています。

例1
 利用者がほとんどおらず、施設老朽化のため閉鎖
 維持管理費 ▲100万円/年

資産活用 民間事業者
 に空き施設を貸付

民間のノウハウによる運営で、利用者が大幅に増大
 地域ににぎわい創出の場ができる！
 維持管理費 0万円/年
 + 貸付収入100万円！



実例 又木茶屋
 休館していた施設を民間事業者による飲食事業として再活用

- マネジメント前**
- 利用者の減小→歳入が確保されない
 - 維持管理費が必要
 - 赤字経営

資産活用

- マネジメント後**
- 維持管理費が不要
 - 地域活性化
 - 就労継続支援の事業所として、就労の機会の提供

例2
 公民館 会議室機能
 図書館 図書貸出
 地区市民センター 住民票取得

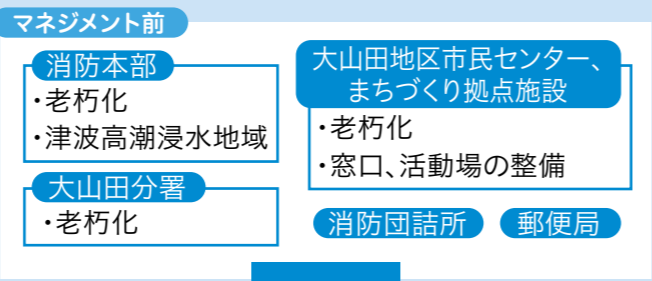
複合化集約化 1つの施設で上記全てのサービスを提供

さまざまなところへ行く手間が省ける！手続きが便利になる！
 ふれあいや交流が生まれる！

複合施設
 令和7年度 供用開始 予定



実例 消防庁舎等再編整備
 「消防本部の高台移転」「大山田分署の老朽化」「大山田地区市民センターの老朽化」などの課題を解決するために、複合化



複合化

- マネジメント後**
- 消防本部の高台移転(防災力の向上)
 - 維持修繕・更新費用の抑制
 - 市民サービスの向上
 - 防災拠点、生活拠点が整備され、より安全・安心な行政施設に

将来のために

公共施設マネジメントは桑名市に限らず全国の自治体が抱えている問題です。公共施設が減ると「不便になる」という考え方ではなく、例えば他の公共施設と集約することで「通いやすくなる、にぎわい生まれる、便利になる」という「プラス」の発想で、「公共施設の未来像」を描いていきます。「今」だけでなく、将来を担う「子どもや孫世代」になっても安全・安心に使えるように、持続可能な公共施設のあり方をともに考えていきましょう！



問 グリーン資産創造課 ☎ 24-1217 FAX 24-6312

桑名市ゼロカーボンシティマスコットキャラクター「パネるん」

公共施設の未来を考える

将来を見据えた公共施設などの最適な配置に取り組んでいます。

市内には市役所や文化施設などの公共施設が約200カ所あり、その多くが老朽化により建て替えの時期を迎えようとしています。一方で、人口減少や少子高齢化が進む中、限られた財源での対応が求められます。

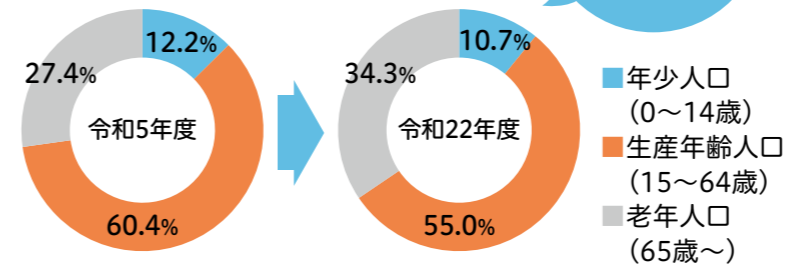
市では、将来にわたって市民の皆さんにより良い状態で公共施設を利用していただけるよう、時代のニーズに対応した公共施設の再配置やサービスの提案を考えていく「公共施設マネジメント」の取り組みを進めています。



桑名市の現状

人口割合の変化

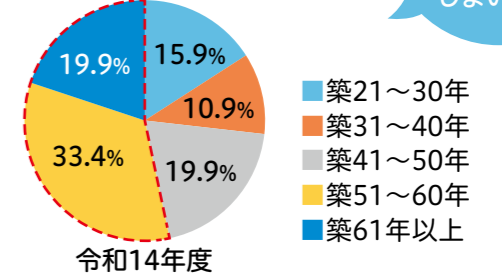
人口減少が進む中、年少人口、生産年齢人口が減り、老年人口が増えます。



これからの時代に合った施設が必要です!!

公共施設の老朽化

近い将来半数以上の施設が築50年以上となります。



維持管理費がどんどん増えてしまいます

財政負担の増加

「桑名市公共施設等総合管理計画」では、現在の公共施設の今後50年間に必要な更新費用を約45億円/年と試算していますが、財政推計により、今後の公共施設の改修などに投じることができる経費は約15億円/年とされています。

人口が減って高齢化も進み、使えるお金が限られているから、全ての公共施設を維持し続けることは難しいんだ。



公共施設マネジメントとは

桑名市公共施設等総合管理計画とは

市では、公共施設などの総合的かつ計画的な管理を推進するため、平成27年6月に「桑名市公共施設等総合管理計画」を公表し、その実行計画である「第1次アクションプラン」に基づき公共施設マネジメントを進めています。

市ホームページ「桑名市公共施設等総合管理計画」



公共施設マネジメントとは

公共施設マネジメントとは、公共施設のこれからの、以下の点を考慮して、検討していく取り組みです。施設がなくなっても、そこで行われていた機能(サービス)は損なわないよう、地域のニーズに合わせたマネジメントを進めていきます。

公共施設マネジメント

- 施設保有量の最適化(施設の要否)
- 施設の有効活用・長寿命化(大切により長く利用)
- 安定的な財政運営(お金をかけない方法を考える)

地域ニーズやDX*の推進など

推進

持続可能な公共施設の実現

施設自体がなくなっても、今までのサービスがなくなるわけではないんだ!



*DX(デジタルトランスフォーメーション):IT・デジタルを活用し、人たちの生活をより良いものに変革すること。